



ともに変え ともに守り ともに生きる

福田ちえの市政だより

発行:福田ちえ後援会 事務所:宇都宮市六道町12-38 電話:028-636-2582 FAX:028-636-2559
<http://www.f-chie.jp/> info@f-chie.jp facebook: chie.fukuda.944 twitter @fukudachie

～ともに変え ともに守り ともに生きる～

日本は人生百歳時代を迎え、経済社会のあらゆる場面で第4次産業革命の新たな技術革新「Society 5.0」が進められています。主なシンクタンクは、製造、流通・小売・物流、金融、医療・健康、公共サービスといった領域でIoTのインパクトが大きいと試算しており、産業構造や就業構造が劇的に変わるとしています。このような激変の時代において、労働者・生活者の声を行政に届け、労働環境の向上及び政策制度の実現に向けた取り組みは益々重要であると考え、9月議会の質問に取り上げました。以下、質問項目。

1. Society 5.0について
 - ・次世代ヘルスケアと次世代モビリティ・システムの構築
 - ・介護や保険データを活用した地域課題の見える化
2. 地域包括ケアシステムの構築について
 - ・NCCと地域包括ケアシステムの連携
 - ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 他
3. 本庁周辺の歴史文化資源の保存と継承について
4. 孤独・自殺対策について
5. 子どもを核としたまちづくりについて
 - ・離婚後の養育費支払いにかかる支援について
6. 教育行政について
 - ・持続可能な開発のための教育（ESD）の推進について
 - ・不登校児童生徒への支援について

9月議会質問より

本庁周辺の歴史文化資源の保存と継承について

問 西原地区蓬萊町の彫刻屋台が痛まないよう、組み上げたまま保管できる収蔵庫の設置が望まれている。しかし、高額な土地を購入し建設費を地区が用意しなければならず、現在の市の補助では賅いきれない。貴重な資源を守るためには**実情に合わせた市の補助が必要**である。

答 歴史文化資源は、所有者を中心に保存活用されてきたが、人口減少・少子高齢化など社会環境が変化する中で、これからは所有者の他、社会全体で「地域の宝」となる歴史文化資源を守り、育て、活かしていく仕組みづくりが必要であり「**仮称 宇都宮市民遺産制度**」の創設に向けた準備を進めている。その中で、補助についても検討する。

裏面へ→

JAM政策制度 価値を認め合う社会の実現に向けて ～産業の振興・中小企業の振興～

提言 平成29年6月議会と平成30年3月議会において『**中小企業振興条例の制定及び中小企業振興と事業承継について**』質問・提言した。

市は現在、「中小・小規模企業、地場産業の振興」を具現化するため、中小企業に特化した（仮称）**中小企業振興プラン**の策定を進めている。



9月議会で質問（9/7）

http://www.utsunomiya-city.stream.jfit.co.jp/?tpl=play_vod&inquiry_id=745

次回は、3月議会で質問予定



連合栃木「女性のための労働相談ホットライン」に協力



↑みやまつり
⇐西原みこし祭り



JAM副会長 田中ひさや氏と、価値を認め合う社会の実現に向けて、取り組みを誓う！

地域包括ケアシステムの構築について ～地域支え合いのまちづくりに向けて～

問 「ネットワーク型コンパクトシティと地域包括ケアシステムの連携について」「横断的な取り組みについて」質問。

答 「ネットワーク型コンパクトシティ（NCC）の都市構造が支える共生社会の創出」を掲げ、公共交通の利便性の確保・充実による外出しやすい環境整備や、包括的・総合的な相談支援体制の構築に向けて、**まちづくりと福祉との連携などの検討を進めている**。また、保健福祉と都市整備、交通、地域まちづくりなど関係部局から成る共生社会創出のための**プロジェクト検討ワーキンググループを設置し、分野横断的に対応を検討・実施していく**。

子どもを核としたまちづくりに向けて

問 ひとり親家庭の貧困率は高く、一因に養育費を受取るひとり親(主に母子)の少なさがある。**離婚後の養育費支払いにかかる支援について**、市の支援体制を確認した。

答 「母子家庭等就業・自立支援センター事業」において養育費専門相談員や弁護士による相談を実施している。国は、養育費不払い者の財産紹介制度の創設など、法改正を検討している。

持続可能な開発のための教育(ESD)の推進

問 「持続可能な開発目標(SDGs)」の実現に向けて、その課題を自分事と捉え、自ら考え自分の言葉で伝える学び「持続可能な開発のための教育(ESD)の実践に取り組むべきである。

答 ESD授業の実践を通して、持続可能な社会の担い手を育む教育の充実に努めていく。

不登校児童生徒への支援について

問 空き教室を活用した不登校児童生徒への支援を提言。

答 別室登校支援と位置づけ、現在不登校児童生徒の在籍する小中学校のうち、約9割の学校で別室登校支援を行っている。教職員研修や指導資料等で周知し、メンタルサポーターの業務内容に別室登校支援を加えるなど、体制の充実に努める。

■学校における緊急連絡体制の整備について（西原小学校における食中毒発生を教訓に）

学校休業日や夜間における児童生徒の食中毒や事故など、緊急で学校と連絡を取る必要がある場合、その体制が整備されていないため、教育委員会へ提言。→年内に方針が示される運びとなった。



福田ちえ●PROFILE

- 1965（S40）3.16生まれ
- 学歴 西原小学校／一条中学校／県立宇都宮工業高校／日本工業大学システム工学科卒業
- 経歴
1987～1993年 足利システムサービス(株)
2001～2005年 衆議院議員 水島広子秘書
2007年4月 宇都宮市議会議員初当選
2014～2015年 デイサービスセンターにしはら
西原小学校PTA会長、一条中学校PTA 副会長、宇都宮市PTA連合会常任理事・同教育課題委員長を歴任
- 現在の役職
宇都宮市議会議員（3期目）
市議会総務常任委員会／市社会福祉審議会／一条中地域協議会／西原小地域協議会／西原宮っ子ステーション運営委員会会長／地域支え合い研究会／村田発條労働組合特別相談役／J A M組織内議員／女性議員連盟

【地域支え合い研究会】を開催



住み慣れたまちで、誰もが居場所と役割を持ち、安心してその人らしく暮らしていける共生社会を目指して、毎月、勉強会を開催しています。多職種・多世代が集い、講話と意見交換によって、学びと気付きがあります。興味のある方はお出かけください。

- 場所：西原コミセン／市総合コミセン
- 日程：毎月1回、土曜日、18:00～
(9/22, 10/27, 11/10, 12/8…)
- 詳細・問合せ：facebook、メール
sasaeaikenkyukai@gmail.com

福田ちえ後援会 ボウリング大会を開催



7/1 第二トーヨーボウルでボウリング大会を開催しました。終始和やかな雰囲気の中、親睦を深めました。

福田ちえ後援会ふれあいバス旅行

【長瀬ライン船下りの旅】

日時 10月21日(日) 日帰り
会費 9,000円(船代、昼食込)
申込み 福田ちえ後援会

☎028-636-2582

募集中!

7:00事務所発→やまぶき味噌→長瀬ライン下り→美晴帝(昼食)→武甲酒造→まつり会館・秩父神社→道の駅花園→18:40着

